

S20190912\_01、Open Eye MSA

[Open Eye MSA](#)、データセンタ向けシングルモード仕様発表

Open Eye Consortium(Open Eye MSA)は、メンバー向けに 53Gbps シングルモード仕様を発表した。これは、50G SFP、100G DSFP、100G SFP-DD、200G QSFP、および 400G QSFP-DD と OSFP シングルモードモジュール用完全アナログ PAM-4 ソリューションに向けた要件を定義している。

Open Eye MSA は、既存標準に基づいて拡張することで 50Gbps、100Gbps、200Gbps、と 400Gbps にスケールする PAM-4 光インタコネクタの普及加速を目標にしている。これにより、既存のデジタル信号処理(DSP)に加えて、より単純でローコスト、省エネ、最適化されたアナログ CDR ベースアーキテクチャを利用した光モジュール実装が可能になる。

新仕様に基づいた製品のマルチベンダ相互接続デモンストレーションは、CIOE 2019 と ECOC 2019 で行われる。さらに、Open Eye MSA は、マルチモード仕様の定義にすでに取りかかっている。これは 2020 年春にリリース予定である。

Open Eye MSA メンバーは、Anritsu, Dust Photonics, Fujitsu Optical Components, HG, Inopticals, Marvell, MultiLane, SAMTEC, と Tektronix。